



那珂川町【福岡県】 文化財保存整備基本計画

■策定年月:平成15年1月 ■人口:50,203人 ■面積:75km²
■担当課:那珂川町教育委員会文化振興課(平成30年3月現在)



町全体を博物館と見立てる「なかがわまちエコミュージアム」の実現に向け、文化財を保存・整備、活用するための計画。文化財を繋ぐ発見の小路(トレイル)に沿った学習を通じて、地域住民の文化財への理解を深め、保存・活用への参加を促し、文化財によるまちづくり、新しいコミュニティづくりを目指していく。

5 歴史文化を表す つのキーワード

安徳大塚古墳、安徳台遺跡群、裂田溝、
さいふみち、神功皇后

課題

- ・住民の参画
- ・関係各課との連携
- ・情報の更新

保存活用方針

- ・文化財を知る指針づくり
- ・文化財を楽しむテーマづくり
- ・文化財を育むひとづくり

保存活用のための取り組み

エコミュージアムの中心基地 (コア)の建設

エコミュージアム推進に先立ち、情報発信の中心基地(コア)としての機能を果たす「歴史博物館」の早期建設を目指す。コアはエコミュージアム活動の中心施設である。



中心となる遺跡群の整備

「安徳大塚古墳」「安徳台」「裂田溝」「岩戸城」は町の歴史を特徴づける重要な遺跡として位置づけている。エコミュージアムのメインメニュー・整備の出発点として、まちづくりや町内外へのPRの面からも早期に整備し、トレイルマップの整備を進める。

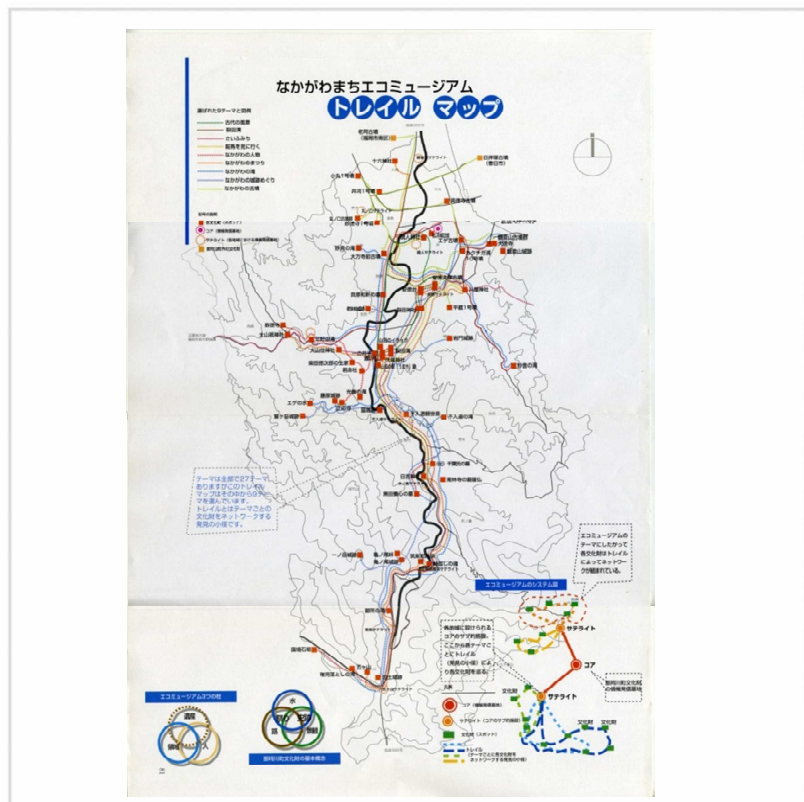
エコミュージアムを生かしたアクションプランの策定

本計画においては、エコミュージアムの手法を取り入れており、この手法で抽出された文化財(スポット)はテーマ毎に発見の小道(トレイル)で結ばれる。これらをもとに、個人、学校、コミュニティ問わず活用しやすいアクションプランの策定を進める。

トレイルに関わる道路や標識などの周辺整備

各課の計画と十分な調整・協議を行い、大切な文化財が傷ついたり紛失したりしないようにし、また、必要施設(サインなど)があればデザインを落ち着いたものにするなど、エコミュージアムとまちづくりのイメージの統一を進める。

◆ なかがわまちエコミュージアムのテーマ



町内には県指定及び町指定の文化財をはじめ、貴重な文化財が多く残っている。町全体を博物館と見立てるエコミュージアムの概念を取り入れ、町の歴史文化への理解を促す27のテーマに基づいて、文化財（スポット）を巡る発見の小路（トレイル）を設定しており、歴史の積み重ねや自然景観を体感できるものとなっている。

ストーリー

- ① 古代の風景
- ② なかがわ水の道
- ③ 堰を見に行く
- ④ なかがわの人物
- ⑤ なかがわの美術工芸品
- ⑥ なかがわの町指定文化財
- ⑦ なかがわのまつり
- ⑧ なかがわの城跡めぐり
- ⑨ なかがわの古墳
- ⑩ なかがわの神社

◆ 策定後の成果（見込まれる効果）

① 住民への周知・理解促進

トレイルのテーマを基に散策ルートマップを作成し、無料配布、ホームページでの閲覧などの方法により、利用者の利便に配慮した情報発信を進めている。また、散策ルートマップと併せてテーマ内容の理解を促すため、看板等の整理も行っている。町外からの利用者も増加している。

② 学校での利用

小学校の総合学習において、散策ルートマップを活用し、学びの輪を広げている。幼少のうちから、文化財に触れることにより、文化財を『知る』『楽しむ』意識を育む環境を整えることができている。

③ 地域団体・町外との関わり

現在活動している地域団体(保存会・歴史研究会・まちづくりサークルなど)や、町外からの来訪者が、散策ルートマップ等を通じて那珂川町の文化財に興味を持ち、トレイルの散策や、ガイドボランティアの利用需要が高まっている。